



エイチ・ツー・オー リテイリング 株式会社  
平成26年3月期 第2四半期 決算発表  
補助資料

平成25年10月29日

連結

1. 連結決算の概要	1
2. セグメント別業績	1
3. 設備投資の状況	1
4. 連結貸借対照表の主な増減とその理由	2
5. 販売費及び一般管理費の主な内訳	2
6. 特別損益の内訳	3
7. 従業員の状況	3

百貨店事業

1. ㈱阪急阪神百貨店の業績	4
2. 店別売上高	4
3. 商品別売上高	5
4. その他の項目	5

# 連 結

## 1. 連結決算の概要

(単位:百万円)

	平成25年度実績・予想					
	上半期実績	前年同期比	下半期予想	前年同期比	通期予想	前年同期比
売上高	264,822	112.1%	305,177	105.6%	570,000	108.5%
売上総利益	71,399	110.9%	82,720	105.9%	154,120	108.1%
営業利益	4,348	201.1%	12,851	151.1%	17,200	161.2%
経常利益	4,846	175.4%	13,053	152.2%	17,900	157.9%
当期純利益	2,652	88.3%	6,647	208.0%	9,300	150.0%

減価償却費	6,732	119.8%	6,987	88.5%	13,720	101.5%
金融収支	439	114.9%	86	113.8%	526	114.7%
設備投資	3,707	39.6%	8,066	34.0%	11,773	35.6%
売上高営業利益率	1.64%	+0.72	4.21%	+1.27	3.02%	+0.99
売上高経常利益率	1.83%	+0.66	4.28%	+1.31	3.14%	+0.98
1株当たり当期純利益(円)	13.66	△1.81			47.90	+15.96

## 2. セグメント別業績

(単位:百万円)

	平成25年度上半期実績				平成25年度通期予想			
	売上高		営業利益		売上高		営業利益	
		前年同期比		前年同期増減		前年同期比		前年同期増減
百貨店事業	192,912	115.9%	3,159	+2,479	420,922	109.8%	12,763	+4,920
スーパーマーケット事業	48,416	105.8%	596	△105	98,099	105.1%	2,140	+328
PM事業	5,944	91.8%	698	△121	11,812	85.8%	1,369	△225
その他事業	17,549	100.6%	1,436	+1,049	39,168	112.8%	2,986	+2,367
連結 計	264,822	112.1%	4,348	+2,185	570,000	108.5%	17,200	+6,529

※セグメント間取引の連結上消去があるため、セグメント別営業利益の合計は連結営業利益と一致しません。

## 3. 設備投資の状況

(単位:百万円)

	平成25年度実績・予想			
	上半期実績	下半期予想	通期予想	前年同期増減
百貨店事業	357	889	1,246	△21,544
スーパーマーケット事業	1,209	2,341	3,550	△368
PM事業	1,398	2,768	4,166	+2,332
その他事業	750	2,067	2,818	△1,828
連結 計	3,707	8,066	11,773	△21,310

※セグメント間取引の連結上消去があるため、セグメント別設備投資額の合計は連結合計と一致しません。

#### 4. 連結貸借対照表の主な増減とその理由

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 連結会計期間末	前連結 会計年度末	増減	主な増減理由
(資産の部)	355,657	359,323	△ 3,666	
流動資産	67,450	65,418	+2,032	
固定資産	288,206	293,905	△ 5,698	
建物及び構築物	73,249	76,299	△ 3,050	減価償却による減少他
建設仮勘定	2,681	1,355	+1,325	阪急大井町ガーデン二期工事に伴う増加他
投資有価証券	86,288	87,639	△ 1,350	売却による減少他
(負債の部)	167,227	172,901	△ 5,673	
流動負債	105,740	90,700	+15,039	
買掛金	32,315	35,960	△ 3,644	季節要因によるもの
1年内返済予定の長期借入金	20,529	580	+19,949	長期から振替
固定負債	61,487	82,201	△ 20,713	
長期借入金	20,961	41,210	△ 20,248	短期へ振替
(純資産の部)	188,429	186,422	+2,007	
利益剰余金	100,471	99,032	+1,439	当四半期純利益 2,652、剰余金の配当△1,213
その他有価証券評価差額金	20,271	19,976	+295	時価評価差額の増加(法人税等相当額控除後)

#### 5. 販売費及び一般管理費の主な内訳

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間	対比	売上構成比		販管費構成比	
					増減		増減
販売費及び一般管理費	67,051	62,229	107.7%	25.32%	△ 1.03	100.00%	—
人件費(報酬・通勤交通費含む)	25,171	24,006	104.9%	9.51%	△ 0.66	37.54%	△ 1.04
賃借料	12,365	11,088	111.5%	4.67%	△ 0.03	18.44%	+0.62
宣伝装飾費	4,277	3,796	112.6%	1.62%	+0.01	6.38%	+0.28
減価償却費	6,389	5,251	121.7%	2.41%	+0.19	9.53%	+1.09
委託作業費	3,705	3,443	107.6%	1.40%	△ 0.06	5.53%	△ 0.01
販売手数料	2,226	1,922	115.8%	0.84%	+0.03	3.32%	+0.23
運搬費	3,109	3,011	103.3%	1.17%	△ 0.10	4.64%	△ 0.20
その他	9,805	9,709	101.0%	3.70%	△ 0.41	14.62%	△ 0.98

## 6. 特別損益の内訳

(単位:百万円)

	当第2四半期 連結累計期間	備 考
特別利益	126	
関係会社清算益	126	阪急デパートメントストアーズヨーロッパ清算に伴うもの
特別損失	283	
固定資産除却損	154	本支店売場改装に伴う除却他(阪急阪神百貨店)他
減損損失	129	家族亭他

## 7. 従業員の状況

(単位:人)

	当第2四半期 連結会計期間末		前連結会計年度末	
百貨店事業	3,123	(1,927)	3,163	(1,769)
スーパーマーケット事業	1,042	(4,386)	1,015	(4,117)
PM事業	133	(507)	133	(521)
その他事業	1,225	(2,245)	1,231	(2,410)
合 計	5,523	(9,065)	5,542	(8,817)

※従業員数は期末就業人員数(他社への出向者を除き、受入出向者・執行役員を含む)

※( )内は、臨時従業員の期中平均人数

## 百貨店事業

### 1. (株)阪急阪神百貨店の業績

(単位:百万円)

	平成25年度実績・予想					
	上半期実績	前年同期比	下半期予想	前年同期比	通期予想	前年同期比
売上高	192,693	116.1%	227,584	105.4%	420,278	110.0%
売上総利益	47,584	117.2%	56,607	105.7%	104,192	110.7%
その他の営業収入	450	63.4%	424	40.9%	875	50.1%
営業総利益	48,035	116.2%	57,031	104.5%	105,067	109.6%
販売費及び一般管理費	44,466	110.4%	47,000	99.8%	91,467	104.7%
営業利益	3,569	346.3%	10,030	133.9%	13,600	159.6%

### 2. 店別売上高

(単位:百万円)

	平成25年度実績・予想					
	上半期実績	前年同期比	下半期予想	前年同期比	通期予想	前年同期比
阪急本店(注)1	84,265	164.6%	103,767	111.0%	188,033	129.9%
千里阪急	8,134	99.4%	9,161	101.8%	17,296	100.6%
堺 北花田阪急	4,707	97.8%	5,526	100.9%	10,234	99.5%
川西阪急	8,209	96.4%	9,182	99.9%	17,392	98.2%
宝塚阪急	4,283	99.5%	4,497	98.2%	8,781	98.8%
西宮阪急	11,504	100.0%	13,021	102.7%	24,526	101.4%
三田阪急	643	99.4%	760	101.7%	1,404	100.7%
博多阪急	18,209	105.4%	21,634	107.2%	39,844	106.4%
阪急メンズ東京	5,478	107.9%	6,894	107.9%	12,373	107.9%
阪急百貨店 大井食品館	2,198	101.9%	2,434	101.5%	4,633	101.7%
都筑阪急(注)2	2,420	72.3%	2,717	103.0%	5,138	85.8%
阪神梅田本店	38,474	86.1%	43,295	97.2%	81,770	91.6%
あまがさき阪神	1,771	98.1%	2,002	101.1%	3,774	99.7%
阪神・にしのみや	2,124	99.0%	2,383	101.0%	4,508	100.0%
阪神・御影	268	99.6%	302	99.5%	571	99.6%
合計	192,693	116.1%	227,584	105.4%	420,278	110.0%

(注)1 阪急メンズ大阪を含む

(注)2 平成24年10月3日 2～4階部分をショッピングセンターに業態変更し、これに伴う収益は(株)阪急商業開発にて計上。

### 3. 商品別売上高

(単位:百万円)

	売上高			
		前年同期比	構成比	構成比増減
紳士服・洋品	15,113	105.9%	7.9%	△0.8
婦人服・洋品	33,215	113.9%	17.2%	△0.3
子供服・洋品	4,843	105.4%	2.5%	△0.3
呉服・寝具・その他衣料	6,650	110.7%	3.5%	△0.2
衣料品計	59,822	110.7%	31.1%	△1.5
身の回り品	35,134	129.4%	18.2%	+1.9
家具	1,478	160.5%	0.8%	+0.2
家電	123	51.7%	0.1%	△0.1
家庭用品	5,132	113.3%	2.6%	△0.1
家庭用品計	6,734	118.3%	3.5%	+0.1
生鮮食品	12,758	107.4%	6.6%	△0.5
菓子	20,179	112.4%	10.5%	△0.3
惣菜	16,861	108.6%	8.7%	△0.6
その他食料品	10,749	108.3%	5.6%	△0.4
食料品計	60,548	109.5%	31.4%	△1.9
食堂・喫茶	6,191	170.8%	3.2%	+1.0
化粧品	12,297	115.6%	6.4%	△0.0
美術・宝石・貴金属	6,612	140.9%	3.4%	+0.6
その他雑貨	3,399	117.8%	1.8%	+0.0
雑貨計	22,309	122.5%	11.6%	+0.6
サービス	1,142	97.3%	0.6%	△0.1
その他	809	106.0%	0.4%	△0.0
合計	192,693	116.1%	100.0%	-

### 4. その他の項目

#### (1) 従業員の状況

人数	平均年齢	平均勤続年数
3,123 (1,927) 人	43.0 才	22.1 年

※従業員数は期末就業人員数(他社への出向者を除き、受入出向者・執行役員を含む)

※( )内は、臨時従業員の期中平均人数

#### (2) 単位当たり売上高

(単位:千円)

	当第2四半期 累計期間	備考
1人当たり売上高	39,277	売上高÷期中平均従業員数(期中平均臨時従業員含む)
1㎡当たり売上高	633	売上高÷期中平均売場(営業)面積

## (3) 店別売場(営業)面積、営業日数と入店客数

	売場(営業)面積(m <sup>2</sup> )	営業日数(増減)	入店客数(千人)	前年同期比
阪急本店 (注) 1	97,804	183 (+ 4)	22,332	146.8%
千里阪急	13,803	183 (±0)	(注) 4 2,370	98.1%
堺 北花田阪急	16,000	183 (±0)	3,535	96.4%
川西阪急	15,528	183 (±0)	2,883	101.1%
宝塚阪急	7,191	183 (±0)	(注) 2 —	—
西宮阪急	25,000	183 (±0)	6,461	98.8%
三田阪急	2,143	183 (±0)	(注) 2 —	—
博多阪急	41,835	183 (±0)	12,241	100.9%
阪急メンズ東京	11,445	183 (±0)	1,378	90.0%
阪急百貨店 大井食品館	2,042	183 (±0)	2,593	107.6%
都筑阪急 (注) 3	6,736	183 (±0)	1,770	78.5%
阪神梅田本店	53,395	183 (±0)	20,673	91.7%
あまがさき阪神	5,329	183 (±0)	(注) 2 —	—
阪神・にしのみや	4,998	183 (±0)	1,978	97.8%
阪神・御影	804	183 (±0)	2,641	99.6%
合計	304,052		80,861	106.1%

※面積は当第2四半期末時点

(注) 1 阪急メンズ大阪を含む。なお、阪急メンズ大阪の前年の営業日数は183日。

(注) 2 入店客数計測器を設置していないため

(注) 3 平成24年10月3日 2～4階部分をショッピングセンターに業態変更し、株阪急商業開発が運営。

(注) 4 千里阪急の入店客数は、平成24年6月の入店客数計測器故障のため、当第2四半期につきましては平成25年6月を除く5ヶ月間の数値を記載し、前年同期比につきましても、同期間(5ヶ月間)による対比を記載しております。